

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	漢字演習
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	1年次
開講学期	2学期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身に付ける
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定に合格する
教科書	問題集
特記	
授業計画	1 漢字日々プリント①～⑩ 2 漢字日々プリント⑪～⑳ 3 漢字日々プリント㉑～㉓ 4 漢字日々プリント㉔～㉗ 5 漢字項目別問題①～③ 6 漢字直前模試① 7 漢字直前模試② 8 漢字直前模試③ 9 漢字直前模試④ 10 漢字直前模試⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	文章表現
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	1年次
開講学期	2学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	ビジネス文書を作成する上で必要となる文書知識を身につける
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	自身でビジネス文書を作成出来るようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 文字入力の基礎 1 2 文字入力の基礎 2 3 ビジネス文書作成 1（案内文） 4 ビジネス文書作成 2（案内文） 5 ビジネス文書作成 3（送付状） 6 ビジネス文書作成 4（送付状） 7 ビジネス文書作成 5（社内文書） 8 ビジネス文書作成 6（社内文書） 9 ビジネス文書作成 7（表作成） 10 ビジネス文書作成 8（表作成） 11 ビジネス文書作成 9（表作成） 12 ビジネス文書作成 10（文章と表の組み合わせ） 13 ビジネス文書作成 11（文章と表の組み合わせ） 14 ビジネス文書作成 12（メール文章・メールの設定） 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	1年次
開講学期	3学期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 文章の作成① 2 文章の作成② 3 文章内の移動① 4 文章内の移動② 5 文章の書式設定① 6 文章の書式設定② 7 オプションの設定、表示のカスタマイズ① 8 オプションの設定、表示のカスタマイズ② 9 文章の印刷、保存① 10 文章の印刷、保存② 11 文字列・段落の挿入① 12 文字列・段落の挿入② 13 文字列・段落の書式設定① 14 文字列・段落の書式設定② 15 文字列・段落の書式設定③ 16 文字列・段落の書式設定④ 17 文字列・段落の並び替え、グループ化① 18 文字列・段落の並び替え、グループ化② 19 文字列・段落の並び替え、グループ化③ 20 文字列・段落の並び替え、グループ化④
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	オフィス基礎
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	1年次
開講学期	2学期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 文章の作成 2 文章内の移動 3 文章の書式設定 4 オプションの設定、表示のカスタマイズ 5 文章の印刷、保存 6 文字列・段落の挿入 7 文字列・段落の書式設定① 8 文字列・段落の書式設定② 9 文字列・段落の並び替え、グループ化① 10 文字列・段落の並び替え、グループ化②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	オフィス活用
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	1年次
開講学期	2学期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 表の作成 2 表の変更 3 リストの作成、変更 4 参照のための情報・記号の作成、管理 5 標準の参考資料作成、管理 6 グラフィック要素の挿入 7 グラフィック要素の書式設定① 8 グラフィック要素の書式設定② 9 SmartArtの挿入、書式設定① 10 SmartArtの挿入、書式設定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス文章
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	1年次
開講学期	2学期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	Wordを操作し、ビジネス文書作成をするための基礎的な知識を身につける実習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 一般的なビジネス文書の作成① 5 一般的なビジネス文書の作成② 6 一般的なビジネス文書の作成③ 7 シンプルなレポートや報告書の作成① 8 シンプルなレポートや報告書の作成② 9 表、画像、図形を使った文書の作成（1）① 10 表、画像、図形を使った文書の作成（1）②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	一般常識			
実務家教員	-			
学部・学科	スポーツ学科			
履修年次	1年次			
開講学期	1学期・2学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	140時間			
授業コマ数	70コマ			
授業概要	就職試験対策			
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る			
達成目標	就職試験の筆記スキル・面接スキルを向上させ、就職活動に活かす			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	訓読み・送り仮名 1	36	個別面接
	2	訓読み・送り仮名 2	37	集団面接
	3	訓読み・送り仮名 3	38	面接のプロセス
	4	訓読み・送り仮名 4	39	質問スタイル
	5	訓読み・送り仮名 5	40	面接試験によく登場する質問 1 自己PRの内容から
	6	熟語 1	41	面接試験によく登場する質問 2 志望動機の内容から
	7	熟語 2	42	面接試験によく登場する質問 3 志望意欲の確認
	8	熟語 3	43	面接試験によく登場する質問 4 進路決定の自主性確認
	9	異字同訓・同音異義 1	44	面接試験によく登場する質問 5 自己研鑽意欲の確認
	10	異字同訓・同音異義 2	45	面接試験によく登場する質問 6 私生活での生活館や創造性
	11	誤字訂正 1	46	面接試験によく登場する質問 7 社会の物事に関する興味関心
	12	誤字訂正 2・類義語	47	面接試験によく登場する質問 8 金銭感覚
	13	反対語	48	面接試験によく登場する質問 9 人間関係への関心
	14	漢字の意味・使い方 1	49	面接試験によく登場する質問 10 課題認識度
	15	漢字の意味・使い方 2	50	面接試験によく登場する質問 11 条件許容度
	16	漢字の意味・使い方 3	51	面接試験によく登場する質問 12 意識、野望チェック
	17	適性試験パターン 1 の解答方法	52	面接試験によく登場する質問 13 柔軟度の確認
	18	適性試験パターン 1 の練習	53	就職体験談の見方、書き方
	19	適性試験パターン 2 の解答方法	54	一般常識試験
	20	適性試験パターン 2 の練習	55	適性検査の種類と対策 1
	21	適性試験パターン 3 の解答方法	56	適性検査の種類と対策 2
	22	適性試験パターン 3 の練習	57	作文演習 1 就職に関するテーマ
	23	適性試験練習 1	58	作文演習 2 学生生活に関するテーマ
	24	適性試験練習 2	59	作文演習 3 自分自身に関するテーマ
	25	適性試験練習 3	60	作文演習 4 時事に関するテーマ
	26	適性試験練習 4	61	集団面接練習 傾向と対策
	27	適性試験練習 5	62	集団面接実技 1
	28	適性試験練習 6	63	集団面接実技 1 映像確認
	29	適性試験練習 7	64	集団面接実技 2
	30	適性試験練習 8	65	集団面接実技 2 映像確認
	31	適性試験練習 9	66	個人面接実技 1
	32	適性試験練習 10	67	個人面接実技 2
	33	面接試験のねらい	68	個人面接実技 1・2 映像確認
	34	面接試験の心構え	69	個人面接実技 3
	35	就職活動を意識した身だしなみ	70	総括
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ医学
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	1年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	<p>スポーツ現場で傷害が発生した際には、素早く応急処置を施さなければならない。的確な応急処置を行うことで、傷害の重症度を必要最小限に抑え、早期回復を図ることができる。スポーツ傷害は外傷と障害に分けることができ、スポーツ現場ではさまざまな傷害が発生する。そのため、スポーツ現場でみられる外傷および障害についての正確な知識と対処方法を身につけておくことが必要である。さらに近年問題となっている生活習慣病は、運動や身体活動量との関連性が高く、これらの予防についてもトレーニングの専門家として指導できることが望ましい。本講義ではこれらのスポーツ医学に関する知識と対処方法、指導方法について学び、習得することを目的とする。</p>
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	スポーツ医学に関する知識と対処方法、指導方法について学び、習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 外傷・創傷の応急処置 3 緊急時の一次救命処置（BLS） 4 頭頸部外傷時の救急処置 5 スポーツ傷害とは 6 足部・足関節・下腿部の傷害 7 膝関節・大腿部の傷害 8 腰部・肩関節の傷害 9 肘関節・手関節の傷害 10 生活習慣病予防と身体活動・運動
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツと栄養
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	1年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	ヒトは食品からエネルギーや栄養素を摂取し、生命維持や身体活動を行っている。特に運動やトレーニングにより、普段より多くのエネルギーや栄養素を消費する場合には、栄養摂取についてより厳密に考える必要がある。また現在社会問題でもある栄養摂取の過多や偏りについて、正確な知識と指導法を理解しておくことも重要である。トレーニング指導者はこれら栄養摂取に関して、関係者と協力して指導を行わなければならない。本講義では基礎的な栄養摂取に関する知識に加え、栄養アセスメントや栄養指導についても学習し、状況に応じたアドバイスやサポートを行える能力を習得することを目的とする。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	基礎的な栄養摂取に関する知識に加え、栄養アセスメントや栄養指導について学び、状況に応じたアドバイスやサポートを行える能力を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 五大栄養素の役割 3 身体組成とエネルギー代謝 4 スポーツ栄養マネジメント 5 種目特性の分類と食事 6 トレーニングスケジュールと食事 7 グリコーゲン補給と回復のための食事 8 水分補給 9 栄養・食事計画、目的別の食事管理 10 食事バランスガイドを活用した食事指導・食育
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ解剖学
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	1年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	スポーツやトレーニングなどを含む身体運動は、筋の収縮により関節によって結ばれた骨格を動かすことによって生じる。そのため、解剖学的な特徴がその機能を規定する。つまりは、身体運動を正確に理解するためには、人類に共通する基本的な身体構造を理解しなければならない。またそれらの構造が身体運動の際にどのように働き、機能するかについても理解しておくことが重要である。本講義では骨格、関節、筋肉の構造的・機能的特性について理解し、それらの知識を身につけることを目的とする。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	骨格、関節、筋肉の構造的・機能的特性について理解し、それらの知識を身につける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 上肢の骨・関節 3 上肢の筋肉・神経・血管 4 脊柱と胸郭の骨・関節 5 脊柱と胸郭の筋肉 6 下肢の骨・関節 7 下肢の筋肉・神経と動脈 8 ワークノート 9 課題演習 10 定例試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般トレーニング実技
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	1年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義及び実習
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	主要トレーニングおよび使用部位のストレッチを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	主要トレーニングおよび使用部位のストレッチを習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 大胸筋のレジスタンストレーニング ・ベンチプレス ・プッシュアップ ・チェストプレス(マシン) 2 大胸筋のレジスタンストレーニングとストレッチ ・ダンベルプレス 3 大胸筋のレジスタンストレーニング ・フライ(フリー&マシン) 4 大腿四頭筋のレジスタンストレーニング ・スクワット ・レッグプレス(マシン) 5 大腿四頭筋のレジスタンストレーニングとストレッチ ・レッグランジ ・フロントランジ ・バックランジ 6 広背筋のレジスタンストレーニングとストレッチ 7 ハムストリングのレジスタンストレーニング 8 腹直筋のレジスタンストレーニング 9 外腹斜筋、内腹斜筋のレジスタンストレーニング 10 三角筋筋のレジスタンストレーニング ・サイドレイズ 11 三角筋のレジスタンストレーニングとストレッチ ・ショルダープレス(フリー&マシン) 12 上腕二頭筋のストレングストレーニング 13 上腕三頭筋のストレングストレーニング 14 脊柱起立筋のストレングストレーニング 15 下腿三頭筋のストレングストレーニング 16 僧帽筋のレジスタンストレーニング 17 脚部のレジスタンストレーニングとストレッチ 18 股関節内転筋群、外転筋群のレジスタンストレーニングとストレッチ 19 総復習 20 定例試験
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	救急法・蘇生法
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	1年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	運動実施中に発生しうる救急疾病や外科的損傷を理解し、対応-予防ができる
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	救急処置の知識を身につける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 救急処置法① 2 救急処置法② 3 テーピング総論 4 テーピング実習 足関節 5 テーピング実習 膝関節 6 テーピング実習 下腿 7 マッサージ実習 下肢 8 マッサージ実習 上肢① 9 マッサージ実習 上肢② 10 マッサージ実習 全身
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	エアロビクス運動論
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	1年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義及び実習
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	ローインパクト～ハイインパクトが混在したクラスを提供する為の、動作スキルを習得する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	動作の指示誘導が実践できるようになる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 グループエクササイズ基礎① 2 グループエクササイズ基礎② 3 グループエクササイズ基礎③ 4 グループエクササイズ基礎④ 5 グループエクササイズ基礎⑤ 6 ストレッチングエクササイズ基礎① 7 ストレッチングエクササイズ基礎② 8 エアロビクダンス基礎① 9 エアロビクダンス基礎② 10 アイソメトリックトレーニング基礎① 11 アイソメトリックトレーニング基礎② 12 レジスタンスエクササイズ基礎① 13 レジスタンスエクササイズ基礎② 14 フリーウエイトトレーニング基礎① 15 フリーウエイトトレーニング基礎② 16 パワー向上トレーニング基礎① 17 パワー向上トレーニング基礎② 18 スタジオエクササイズ基礎① 19 スタジオエクササイズ基礎② 20 総復習
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	エアロビクス実技	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	動作スキルと指示誘導を実践する。具体的な目標として、ウォーミングアップ～ローインパクト～ハイインパクト～クールダウンに至るまでのプログラミングを行い、実演ができるようにすることを目的とする。作成したプログラムを基に動きの見本の精度を高めると共に、動作指示の精度を上げていく。最終的な目標として、50分のプログラムを実演できるようにする。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	エアロビックダンスの特性や期待される健康効果について理解でき、説明できる。また、エアロビックダンスのプログラムを作成し、キューイング、アイコンタクト、ポジショニング、動きの展開、段階的指導を理解しながら、指導を行うことができる。	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	ストレッチングエクササイズ実践①
	2	ストレッチングエクササイズ実践②
	3	ストレッチングエクササイズ実践③
	4	ストレッチングエクササイズ実践④
	5	エアロビックダンス実践①
	6	エアロビックダンス実践②
	7	エアロビックダンス実践③
	8	エアロビックダンス実践④
	9	エアロビックダンス実践⑤
	10	スタジオエクササイズ実践①
	11	スタジオエクササイズ実践②
	12	スタジオエクササイズ実践③
	13	スタジオエクササイズ実践④
	14	グループエクササイズ実践①
	15	グループエクササイズ実践②
	16	グループエクササイズ実践③
	17	エアロビックダンス実践⑥
	18	エアロビックダンス実践⑦
	19	エアロビックダンス実践⑧
	20	エアロビックダンス実践⑨
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ実習
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	1年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義及び実習
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	実習の運営方法を習得することを目的とする。チームスポーツ・ウェイトトレーニングなどの講義、実習を通じて幅広い知識、技能を身に付ける。
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	初心者向けの各種エクササイズのパログラム作成と実演スキルを身に付ける
教科書	特に使用はしない
特記	
授業計画	1 チームスポーツ実践① 2 チームスポーツ実践② 3 チームスポーツ実践③ 4 チームスポーツ実践④ 5 チームスポーツ実践⑤ 6 チームスポーツ実践⑥ 7 チームスポーツ実践⑦ 8 チームスポーツ実践⑧ 9 フリーウェイトトレーニング実践① 10 フリーウェイトトレーニング実践② 11 フリーウェイトトレーニング実践③ 12 フリーウェイトトレーニング実践④ 13 フリーウェイトトレーニング実践⑤ 14 フリーウェイトトレーニング実践⑥ 15 フリーウェイトトレーニング実践⑦ 16 フリーウェイトトレーニング実践⑧ 17 パワー向上トレーニング実践① 18 パワー向上トレーニング実践② 19 パワー向上トレーニング実践③ 20 パワー向上トレーニング実践④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	専門コンディショニング	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	80時間	
授業コマ数	40コマ	
授業概要	テーピング、ストレッチ、リラクゼーションの基礎知識・スキルを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	テーピング、ストレッチ、リラクゼーションの基礎知識・スキルの定着	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 運動生理学 2 解剖学とキネシオロジーⅠ 3 解剖学とキネシオロジーⅡ 4 けがの予防と処置、安全対策 5 テーピング法の知識と基本テクニック 6 テーピング法Ⅰ（大腿部・下腿部） 7 テーピング法Ⅱ（上背部・肩部・腰部） 8 テーピング法Ⅲ（前腕部・上腕部・手首） 9 テーピング法総合 10 ストレッチ法の知識と基本テクニック 11 ストレッチ法Ⅰ（上半身可動性） 12 ストレッチ法Ⅱ（下半身可動性） 13 ストレッチ法Ⅲ（リラクゼーション） 14 ストレッチ法総合 15 スポーツマッサージ法の知識と基本テクニック 16 スポーツマッサージ法Ⅰ（手技・手法） 17 スポーツマッサージ法Ⅱ（実技） 18 スポーツマッサージ法Ⅲ（応用） 19 スポーツマッサージ法総合 20 栄養学と身体組成	21 スポーツ栄養学Ⅰ（食教育・食環境） 22 スポーツ栄養学Ⅱ（コンディショニング管理・増量・減量） 23 スポーツ栄養学Ⅲ（サプリメント） 24 スポーツ栄養学総合 25 イントロダクションⅠ 26 イントロダクションⅡ 27 エクササイズ・トレーニングの一般原則Ⅰ 28 エクササイズ・トレーニングの一般原則Ⅱ 29 エクササイズ・トレーニングの一般原則Ⅲ 30 健康・フィットネスⅠ（構成要素） 31 健康・フィットネスⅡ（トレーニングに関する推奨事項） 32 プロフェッショナルとしての責任と考慮 33 エクササイズ評価とAFAAファイブ・クエスション 34 ハイリスク／適切な変換形 35 ボディアライメントⅠ 36 ボディアライメントⅡ 37 グループエクササイズのクラス構成 38 クラスの構成要素 39 総復習 40 定例試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	健康管理概論
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	1年次
開講学期	2学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	健康と健康づくりの概念と歴史、わが国の疾病状況とおよび高齢化の現状を学
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	健康づくり施策概論の範囲の内容を理解させる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 わが国の現状と健康づくり施策 2 生活習慣病とメタボリックシンドローム、介護予防について 3 メディカルチェック 4 健康づくり施策概論 5 健康づくりと運動プログラム① 6 健康づくりと運動プログラム② 7 健康づくり運動の実際① ウォームアップとクールダウン、ストレッチング 8 健康づくり運動の実際② ウォーキングとジョギング、エアロビクスダンス 9 生活習慣病とその予防 10 生活習慣病の運動療法
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ社会学
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	1年次
開講学期	2学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	トレーニング指導者としての資質や倫理を学び、社会的な役割を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	トレーニング指導者という社会的な業務理解をする。
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 グループフィットネス業界の歴史と発展 2 トレーニング指導者の役割と業務 3 競技スポーツ分野における状況に応じた活動 4 トレーニング指導者の資質 5 トレーニング指導者が身につけるべき能力 6 トレーニング指導者の行動と倫理 7 運動指導のための情報 8 プロフェッショナルと法的責任 9 法的・倫理的配慮 10 トレーニング指導者の行動規範
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スポーツ生理学	
実務家教員	-	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	<p>生命を維持するために、運動を行うために、我々の身体は常に働いている。そして我々の身体は、さまざまなメカニズムによって緻密にコントロールされている。本講義ではこれらの体内メカニズムのうち、呼吸系、循環系、エネルギー代謝、骨格筋の構造と機能、筋活動の神経支配、および運動に対する内分泌系の応答について解説する。これらの体内の基礎的なメカニズムを正確に理解することは、運動時における身体の適応変化を理解する上で非常に重要である。また、基礎的な生理学の情報は、アスリートに対して有意義なトレーニングプログラムを作成するために不可欠である。本講義では特に、運動に関する情報を中心に解説する。</p>	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	体内の基礎的なメカニズムを正確に理解することや、運動時における身体の適応変化を理解する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	オリエンテーション
	2	呼吸循環系の基礎的情報
	3	運動と呼吸循環系
	4	トレーニングと呼吸循環系
	5	エネルギー代謝の基礎的情報
	6	運動とエネルギー代謝
	7	骨格筋の形態と機能
	8	筋力発揮、筋・神経系に対するメカニズム
	9	身体機能へのホルモンの作用
	10	ワークノート
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ心理学
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	1年次
開講学期	2学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	トレーニング指導現場では、単にトレーニングプログラムの提供や指導を行えば良いというわけではない。トレーニング効果やパフォーマンスなどを向上させる要因として、心理面の関与はとて大きい。トレーニング指導者は心・技・体を総合的に考え、心理面のサポートや指導を行うことが重要である。また、そのなかで目的に応じた好ましい動機づけを行うことで、高いモチベーションを維持させ、指導者が側にいないときでも質の高いトレーニングを行えるよう指導していく必要がある。本講義ではそのために必要となる心理学の基礎知識や指導現場での応用方法について学び、習得することを目的とする。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	心理学の基礎知識や指導現場での応用方法について学び、習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 運動やスポーツと心理面の関わり・発育発達に関する心理的側面 3 心理面を考慮した指導法・選手のメンタル面の強化 動機づけ・選手のやる気を高める方法 4 スポーツの技能を向上させるための心理面 心の健康・指導者の考え方 5 心理的サポートとメンタルトレーニング メンタルトレーニングの専門家・練習前の心理的準備 6 目標設定・心理的準備と練習日誌 7 試合に向けた心理的準備・イメージトレーニング 8 集中力・プラス思考・セルフトーク・試合中の気持ちの切り替え 選手を取り巻く人たちに対して 9 各種スポーツとメンタルヘルス・メンタルヘルスと運動・スポーツ 10 メンタルヘルスとスポーツ障害・青少年スポーツと女性のダイエット 社会生活とメンタルヘルス
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ指導論
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	1年次
開講学期	3学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	指導者の基礎的な知識を学び、指導者の役割についての理解を深める
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	スポーツ指導における基礎理論・知識の習得
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 健康管理概論 指導者の役割 2 解剖学 3 運動処方 4 バイオメカニクス 基礎理論 5 運動生理学 6 スポーツ栄養学 運動と栄養に関する基礎理論 7 スポーツ栄養学 健康増進と栄養の基礎知識 8 スポーツ心理学 運動と心理の基礎理論 9 スポーツ医学 外傷、創傷の応急処置（RICE処置の重要性、留意点、止血法） 10 スポーツ指導論基礎まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スポーツ運動学	
実務家教員	-	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	問題演習を通じ、解剖学・生理学・栄養学・心理学を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	スポーツ運動学における幅広い知識の習得	
教科書	特に使用はしない	
特記		
授業計画	1	スポーツ解剖学Ⅰ 機能解剖上肢・下肢 骨 筋肉
	2	スポーツ解剖学Ⅱ 機能解剖脊柱・胸郭 骨 筋肉
	3	スポーツ生理学Ⅰ 運動と呼吸循環器系
	4	スポーツ生理学Ⅱ トレーニングと呼吸循環器系
	5	スポーツ生理学Ⅲ 運動とエネルギー代謝
	6	スポーツ生理学Ⅳ トレーニングとエネルギー代謝
	7	スポーツ栄養学Ⅰ 栄養素の吸収について
	8	スポーツ栄養学Ⅱ スポーツ選手の栄養教育
	9	スポーツ心理学Ⅰ メンタルトレーニングの方法
	10	スポーツ心理学Ⅱ スポーツ障害と心理
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	コーチ学
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	1年次
開講学期	3学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	グループにおけるコミュニケーション、クラス動態を学び指導者スキルを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	グループにおけるコミュニケーション、クラス動態の概要を理解する。
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 グループフィットネスメソッド 2 グループフィットネスの様式 3 コミュニケーションと学習スタイル 4 コミュニケーションの理解 5 グループでのコミュニケーションの適用 6 行動変容モデル 7 クラス動態への適応 8 クラス動態概論 9 クラス前の準備 10 動作の質の評価と保証
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	体力測定と評価	
実務家教員	-	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	1年次	
開講学期	3学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	測定評価に関する知識を学ぶとともに、各種データを的確に処理・活用するために必要な知識を習得することを目的とする。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	測定評価に関する知識を学ぶとともに、各種データを的確に処理・活用するために必要な知識を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	オリエンテーション
	2	トレーニング指導における測定と評価の意義と目的
	3	測定の一般的留意点
	4	測定と評価の実際
	5	測定データを活用するための準備
	6	データの特徴を把握するための記述統計
	7	ランキングや得点化による評価法
	8	データ間の関係を把握するための相関分析と回帰分析
	9	トレーニング指導における測定データのフィードバック
	10	ワークノート
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	トレーナー基礎理論・実技			
実務家教員	-			
学部・学科	スポーツ学科			
履修年次	1年次			
開講学期	2学期・3学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	100時間			
授業コマ数	50コマ			
授業概要	指導者の基礎的な知識を学び、体に考慮した指導がどのように実践されているのかを理解する			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	スポーツ指導における基礎理論・知識の習得			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	健康管理概論 指導者の役割Ⅰ（国内のトレーニング指導者に対するニーズ）	26	バイオメカニクスⅠ（スポーツ動作：歩動作、走動作、跳動作）
	2	健康管理概論 指導者の役割Ⅱ（トレーニング指導者の役割と業務）	27	バイオメカニクスⅡ（スポーツ動作：投動作、打動作、蹴動作）
	3	健康管理概論 指導者の役割Ⅲ（競技スポーツ分野における状況に応じた活動）	28	バイオメカニクスⅢ（スポーツ動作：滑走動作、泳動作など）
	4	解剖学Ⅰ 上肢	29	バイオメカニクスⅣ（トレーニング動作）
	5	解剖学Ⅱ 上肢 動作確認	30	スポーツ栄養学 スポーツ選手の競技力向上と栄養Ⅰ（種目特性の分類と食事）
	6	解剖学Ⅲ 脊柱と胸郭	31	スポーツ栄養学 スポーツ選手の競技力向上と栄養Ⅱ（トレーニングスケジュールと食事）
	7	解剖学Ⅳ 脊柱と胸郭 動作確認	32	スポーツ栄養学 スポーツ選手の競技力向上と栄養Ⅲ（栄養・食事計画の立案と食事管理）
	8	解剖学Ⅴ 下肢	33	スポーツ心理学 運動と心理のスポーツ選手への活用Ⅰ（メンタルトレーニング）
	9	解剖学Ⅵ 下肢 動作確認	34	スポーツ心理学 運動と心理のスポーツ選手への活用Ⅱ（練習前の心理的準備、目標設定）
	10	運動処方 体力の要素と体力モデル	35	スポーツ心理学 運動と心理のスポーツ選手への活用Ⅲ（試合に向けた心理的準備、イメトレ）
	11	運動生理学 呼吸循環系と運動	36	スポーツ心理学 運動と心理の一般人の健康増進への活用Ⅰ（各種スポーツとメンタルヘルス）
	12	運動生理学 エネルギー代謝と運動	37	スポーツ心理学 運動と心理の一般人の健康増進への活用Ⅱ（メンタルヘルスとスポーツ傷害）
	13	運動生理学 骨格筋の形態と機能	38	スポーツ心理学 運動と心理の一般人の健康増進への活用Ⅲ（カウンセリング）
	14	運動生理学 筋力発揮のメカニズム	39	スポーツ医学 スポーツ傷害Ⅰ（足部、足関節、下腿部、膝関節）
	15	運動生理学 呼吸循環器の運動時の変化	40	スポーツ医学 スポーツ傷害Ⅱ（大腿部、腰部、肩、肘、手関節）
	16	運動生理学 内分泌系と運動	41	スポーツ医学 生活習慣病とその予防（健康づくりのための身体活動基準）
	17	スポーツ栄養学 運動と栄養に関する基礎理論Ⅰ（五大栄養素の役割）	42	スポーツ医学 肥満に対する理解と運動指導
	18	スポーツ栄養学 運動と栄養に関する基礎理論Ⅱ（身体組成とエネルギー代謝）	43	スポーツ医学 糖尿病に対する理解と運動指導
	19	スポーツ栄養学 運動と栄養に関する基礎理論Ⅲ（スポーツ栄養マネジメント）	44	スポーツ医学 脂質異常症に対する理解と運動指導Ⅰ（脂質異常症とは）
	20	スポーツ栄養学 健康増進と栄養の基礎知識	45	スポーツ医学 脂質異常症に対する理解と運動指導Ⅱ（運動指導）
	21	スポーツ心理学 運動と心理の基礎理論Ⅰ（心理面のかかわり・心理面を考慮した指導法）	46	スポーツ医学 高血圧症に対する理解と運動指導Ⅰ（高血圧症とは）
	22	スポーツ心理学 運動と心理の基礎理論Ⅱ（選手のメンタル面の強化、モチベーションの向上）	47	スポーツ医学 高血圧症に対する理解と運動指導Ⅱ（運動指導）
	23	スポーツ心理学 運動と心理の基礎理論Ⅲ（指導者の考え方）	48	発育発達論 運動指導の科学Ⅰ（動作の成り立ち、神経系の発達）
	24	スポーツ医学 外傷、創傷の応急処置（RICE処置の重要性、留意点、止血法）	49	発育発達論 運動指導の科学Ⅱ（動作の習得と練習方法）
	25	スポーツ指導論基礎まとめ①	50	スポーツ指導論基礎まとめ②
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要 (シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	トレーニング論・実技		
実務家教員	-		
学部・学科	スポーツ学科		
履修年次	1年次		
開講学期	2学期・3学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	100時間		
授業コマ数	50コマ		
授業概要	トレーニングに必要な実技知識の定着を図る		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	トレーニングにおける実技および指導力の習得		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	トレーニング実践 筋力トレーニングⅠ 実施に当たって	26 トレーニング指導演習 まとめ①
	2	トレーニング実践 筋力トレーニングⅡ ベンチプレス	27 トレーニング実践 持久力向上トレーニングⅠ 安全に関するガイドライン
	3	トレーニング実践 筋力トレーニングⅢ スクワット	28 トレーニング実践 持久力向上トレーニングⅡ ウォームアップとクールダウン
	4	トレーニング実践 筋力トレーニングⅣ デッドリフト	29 トレーニング実践 持久力向上トレーニングⅢ ウォーキング・ランニング
	5	トレーニング実践 筋力トレーニングⅤ 胸部・背部・肩部のエクササイズ	30 トレーニング実践 持久力向上トレーニングⅣ トレッドミル・自転車エルゴメータ
	6	トレーニング実践 筋力トレーニングⅥ 上腕部・前腕部のエクササイズ	31 トレーニング実践 持久力向上トレーニングⅤ 持続性トレーニング
	7	トレーニング実践 筋力トレーニングⅦ 大腿部及び股関節周辺部のエクササイズ	32 トレーニング実践 持久力向上トレーニングⅥ レベティショントレーニング
	8	トレーニング実践 筋力トレーニングⅧ 下腿部・体幹のエクササイズ	33 トレーニング実践 持久力向上トレーニングⅦ ディトトレーニング・オーバートレーニング
	9	トレーニング実践 筋力トレーニングのプログラム作成Ⅰ 筋力トレーニングの効果	34 トレーニング実践 持久力向上トレーニングのプログラム作成Ⅰ 持久力に関する基礎理論
	10	トレーニング実践 筋力トレーニングのプログラム作成Ⅱ プログラムの条件設定	35 トレーニング実践 持久力向上トレーニングのプログラム作成Ⅱ 有酸素持久力向上トレーニング
	11	トレーニング実践 筋力トレーニングのプログラム作成Ⅲ プログラム作成	36 トレーニング実践 持久力向上トレーニングのプログラム作成Ⅲ 無酸素性持久力向上トレーニング
	12	トレーニング実践 パワー向上トレーニングⅠ クイックリフト	37 トレーニング実践 持久力向上トレーニングのプログラム作成Ⅳ プログラム作成
	13	トレーニング実践 パワー向上トレーニングⅡ ジャンプ系エクササイズ	38 トレーニング実践 持久力向上トレーニングのプログラム作成Ⅳ 年齢に応じたトレーニングプログラム
	14	トレーニング実践 パワー向上トレーニングⅢ 上肢・下肢のプライオメトリクス	39 トレーニング実践 持久力向上トレーニングのプログラム作成Ⅴ アスリートの競技方向のためのプログラム
	15	トレーニング実践 パワー向上トレーニングⅣ 体幹のプライオメトリクス	40 トレーニング実践 スピード向上トレーニングⅠ スピードの概念
	16	トレーニング実践 パワー向上トレーニングⅤ 複合動作のプライオメトリクス	41 トレーニング実践 スピード向上トレーニングⅡ 基本動作
	17	トレーニング実践 パワー向上トレーニングⅥ フィットネス分野でのパワートレーニング	42 トレーニング実践 スピード向上トレーニングⅢ エクササイズのレベル分けと分類、選定
	18	トレーニング実践 パワー向上トレーニングⅦ プログラム作成	43 トレーニング実践 スピード向上トレーニングのプログラム作成Ⅰ スピードを向上させる要因
	19	トレーニング実践 パワー向上トレーニングのプログラム作成Ⅰ パワーの基本概念	44 トレーニング実践 スピード向上トレーニングのプログラム作成Ⅱ 動作テクニックの獲得
	20	トレーニング実践 パワー向上トレーニングのプログラム作成Ⅱ プログラム戦略・プログラム変数	45 トレーニング実践 スピード向上トレーニングのプログラム作成Ⅲ アジリティ・オープンスキルアジリティの強化
	21	体力測定の評価 測定と評価委の意義と目的	46 ストレッチングの理論と実際 柔軟性向上トレーニングⅠ スタティックストレッチ
	22	体力測定の評価 測定の一般的留意点	47 ストレッチングの理論と実際 柔軟性向上トレーニングⅡ パートナーストレッチ
	23	体力測定の評価 測定データの準備	48 ストレッチングの理論と実際 柔軟性向上トレーニングのプログラム作成Ⅰ ウォームアップとクールダウン
	24	体力測定の評価 得点化と評価法	49 ストレッチングの理論と実際 柔軟性向上トレーニングのプログラム作成Ⅱ ウォームアップのプログラム作成
	25	体力測定の評価 統計的仮説検定の基礎	50 トレーニング指導演習 まとめ②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	テーピング論・実習
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	1年次
開講学期	3学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	テーピングの基礎知識を理解し、目的や効果を学んでいく。テーピングに関しては各部位のテーピングを実践し、スキルを深めていくようにする。また、安全で効果的なマッサージを学び、実践できることを目的とする。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	テーピングの目的や効果を理解し、各部位のテーピング技術を実践できるようになる。また、安全で効果的なマッサージの方法を理解し、実践できるようになることを目的とする。
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 テーピングの基礎知識 3 部位別テーピング（足首） 4 部位別テーピング（手首・指） 5 部位別テーピング（腕） 6 部位別テーピング（肩） 7 部位別テーピング（腰） 8 部位別テーピング（太もも） 9 部位別テーピング（膝・脛） 10 部位別テーピング（ふくらはぎ・アキレス腱） 11 部位別テーピング（足の指・足の裏） 12 マッサージの基本 13 手技別のマッサージ（軽擦法：さする） 14 手技別のマッサージ（揉捏法：もむ） 15 手技別のマッサージ（強擦法：もみくだく） 16 手技別のマッサージ（振戦法：ふるわせる） 17 手技別のマッサージ（叩打法：たたく） 18 手技別のマッサージ（伸展法：伸ばす） 19 セルフマッサージ 20 定例試験
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要 (シラバス)

タイトル	内容
授業科目	コンピュータ基礎知識
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	1年次
開講学期	2学期・3学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	80時間
授業コマ数	40コマ
授業概要	企業活動や経営、システム戦略の基礎的手法、コンピュータの構成、ネットワーク、データベース、セキュリティ等の技術、システムの開発技術やプロジェクトのマネジメント方法、情報技術に携わる業務知識や担当業務に関する全般的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	職業人が備えておくべき情報技術に関する知識の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 企業活動 2 法務 3 問題演習 4 経営戦略マネジメント 5 技術戦略マネジメント 6 問題演習 7 ビジネスインダストリ 8 システム戦略 9 システム企画 10 問題演習 11 基礎理論 12 アルゴリズムとプログラミング 13 コンピュータ構成要素 14 システム構成要素 15 ソフトウェア 16 ハードウェア・ヒューマンインタフェース 17 マルチメディア 18 データベース 19 ネットワーク 20 セキュリティ 21 システム開発技術 22 ソフトウェア開発管理技術 23 問題演習 24 プロジェクトマネジメント 25 サービスマネジメント 26 システム監査 27 問題演習 28 実力判定テスト① 29 実力判定テスト② 30 実力判定テスト③ 31 直前対策問題演習 (ストラテジ) 32 直前対策問題演習 (ストラテジ) 33 直前対策問題演習 (ストラテジ) 34 直前対策問題演習 (マネジメント) 35 直前対策問題演習 (マネジメント) 36 直前対策問題演習 (マネジメント) 37 直前対策問題演習 (テクノロジー) 38 直前対策問題演習 (テクノロジー) 39 直前対策問題演習 (テクノロジー) 40 直前対策問題演習 (テクノロジー)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	OA概論基礎	
実務家教員	-	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期・3学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	業務上必要とされるOAの基礎的な知識習得を目的とする。パソコンの基礎知識やインターネットやメールの基礎知識、VDT安全対策を学ぶ。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	社会人として必要な情報リテラシの基礎を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 基礎理論① 2 基礎理論② 3 基礎理論③ 4 基礎理論④ 5 基礎理論⑤ 6 基礎理論⑥ 7 基礎理論⑦ 8 基礎理論⑧ 9 基礎理論⑨ 10 基礎理論⑩ 11 アルゴリズムとプログラミング① 12 アルゴリズムとプログラミング② 13 アルゴリズムとプログラミング③ 14 アルゴリズムとプログラミング④ 15 アルゴリズムとプログラミング⑤ 16 アルゴリズムとプログラミング⑥ 17 アルゴリズムとプログラミング⑦ 18 アルゴリズムとプログラミング⑧ 19 コンピュータ構成要素、システム構成要素① 20 コンピュータ構成要素、システム構成要素② 21 コンピュータ構成要素、システム構成要素③ 22 コンピュータ構成要素、システム構成要素④ 23 コンピュータ構成要素、システム構成要素⑤ 24 コンピュータ構成要素、システム構成要素⑥ 25 ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインターフェース① 26 ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインターフェース② 27 ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインターフェース③ 28 ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインターフェース④ 29 ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインターフェース⑤ 30 ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインターフェース⑥	31 マルチメディア、データベース① 32 マルチメディア、データベース② 33 マルチメディア、データベース③ 34 マルチメディア、データベース④ 35 マルチメディア、データベース⑤ 36 マルチメディア、データベース⑥ 37 マルチメディア、データベース⑦ 38 マルチメディア、データベース⑧ 39 マルチメディア、データベース⑨ 40 マルチメディア、データベース⑩ 41 企業活動① 42 企業活動② 43 企業活動③ 44 企業活動④ 45 企業活動⑤ 46 企業活動⑥ 47 経営戦略マネジメント① 48 経営戦略マネジメント② 49 経営戦略マネジメント③ 50 経営戦略マネジメント④ 51 経営戦略マネジメント⑤ 52 経営戦略マネジメント⑥ 53 技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ① 54 技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ② 55 技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ③ 56 技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ④ 57 技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ⑤ 58 技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ⑥ 59 技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ⑦ 60 技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	コンピュータ実習基礎	
実務家教員	-	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期・3学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	80コマ	
授業概要	Officeソフトの基本操作を身に付けることを目的とする。Word・Excelの操作方法の復習と他のソフトの基本操作について学ぶ。	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	Word：段落やセクションを効果的に区切り、長文を効率良く編集できる Excel：複雑な関数や複数のシートを使ってのデータ集計や抽出を行い、目的に沿った編集ができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 Word基礎演習① 2 Word基礎演習② 3 Word基礎演習③ 4 Word基礎演習④ 5 Excel基礎演習① 6 Excel基礎演習② 7 Excel基礎演習③ 8 Excel基礎演習④ 9 文書の作成と管理① 10 文書の作成と管理② 11 文書の作成と管理③ 12 文書の作成と管理④ 13 文書の作成と管理⑤ 14 文書の作成と管理⑥ 15 表作成の基本操作① 16 表作成の基本操作② 17 表作成の基本操作③ 18 数式・関数を活用した集計表の作成① 19 数式・関数を活用した集計表の作成② 20 数式・関数を活用した集計表の作成③ 21 数式・関数を活用した集計表の作成④ 22 数式・関数を活用した集計表の作成⑤ 23 数式・関数を活用した集計表の作成⑥ 24 ワークシート間の集計① 25 ワークシート間の集計② 26 ワークシート間の集計③ 27 ワークシート間の集計④ 28 ワークシート間の集計⑤ 29 ワークシート間の集計⑥ 30 グラフの基本① 31 グラフの基本② 32 グラフの基本③ 33 グラフの基本④ 34 グラフの基本⑤ 35 グラフの基本⑥ 36 目的に応じたグラフの作成と編集① 37 目的に応じたグラフの作成と編集② 38 目的に応じたグラフの作成と編集③ 39 目的に応じたグラフの作成と編集④ 40 目的に応じたグラフの作成と編集⑤	41 目的に応じたグラフの作成と編集⑥ 42 データベース機能の利用① 43 データベース機能の利用② 44 データベース機能の利用③ 45 データベース機能の利用④ 46 データベース機能の利用⑤ 47 データベース機能の利用⑥ 48 データの抽出① 49 データの抽出② 50 データの抽出③ 51 データの抽出④ 52 データの抽出⑤ 53 データの抽出⑥ 54 ピボットテーブル① 55 ピボットテーブル② 56 ピボットテーブル③ 57 ピボットテーブル④ 58 ピボットテーブル⑤ 59 ピボットテーブル⑥ 60 マクロによる作業の自動化① 61 マクロによる作業の自動化② 62 マクロによる作業の自動化③ 63 マクロによる作業の自動化④ 64 マクロによる作業の自動化⑤ 65 マクロによる作業の自動化⑥ 66 表、画像、図形を使った文書の作成① 67 表、画像、図形を使った文書の作成② 68 表、画像、図形を使った文書の作成③ 69 見やすく使いやすい表にする編集操作① 70 見やすく使いやすい表にする編集操作② 71 見やすく使いやすい表にする編集操作③ 72 見やすく使いやすい表にする編集操作④ 73 見やすく使いやすい表にする編集操作⑤ 74 見やすく使いやすい表にする編集操作⑥ 75 社内文書作成演習① 76 社内文書作成演習② 77 社内文書作成演習③ 78 社外文書作成演習① 79 社外文書作成演習② 80 社外文書作成演習③
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	オフィスソフト実習
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	1年次
開講学期	2学期・3学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	80時間
授業コマ数	40コマ
授業概要	PowerPointの基本的な機能や操作方法を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	基本的かつ総合的なPowerPointのスキルの養成を目的とする
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 プレゼンテーションの作成① 2 プレゼンテーションの作成② 3 スライド挿入、書式設定① 4 スライド挿入、書式設定② 5 スライド、配布資料、ノートの変更① 6 スライド、配布資料、ノートの変更② 7 スライドの並べ替え、グループ化① 8 スライドの並べ替え、グループ化② 9 印刷するためのプレゼンテーションを設定① 10 印刷するためのプレゼンテーションを設定② 11 プレゼンテーションのオプションや表示変更① 12 プレゼンテーションのオプションや表示変更② 13 スライドショーの設定、実行① 14 スライドショーの設定、実行② 15 テキストの挿入、書式設定① 16 テキストの挿入、書式設定② 17 図形やテキストボックスの挿入、書式設定① 18 図形やテキストボックスの挿入、書式設定② 19 図の挿入、書式設定① 20 図の挿入、書式設定② 21 図形の並べ替え、グループ化① 22 図形の並べ替え、グループ化② 23 表の挿入、書式設定① 24 表の挿入、書式設定② 25 グラフの挿入、書式設定① 26 グラフの挿入、書式設定② 27 SmartArtの挿入、書式設定① 28 SmartArtの挿入、書式設定② 29 メディアの挿入、管理① 30 メディアの挿入、管理② 31 画面切り替えの適用① 32 画面切り替えの適用② 33 スライドのコンテンツにアニメーションを設定① 34 スライドのコンテンツにアニメーションを設定② 35 画面切り替えとアニメーションのタイミングを設定① 36 画面切り替えとアニメーションのタイミングを設定② 37 複数のプレゼンテーションのコンテンツを結合① 38 複数のプレゼンテーションのコンテンツを結合② 39 プレゼンテーションの保護、共有① 40 プレゼンテーションの保護、共有②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般常識
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	2年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	就職試験に出題される一般常識対策を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 数学まとめ問題①（数の計算・式の計算） 2 数学まとめ問題②（方程式・不等式・関数とグラフ） 3 数学まとめ問題③（整数値問題・確率） 4 数学まとめ問題④（図形・文章題） 5 数学まとめ問題⑤（文章題） 6 国語まとめ問題①（語意） 7 国語まとめ問題②（語意） 8 国語まとめ問題③（文法） 9 国語まとめ問題④（長文読解） 10 国語まとめ問題⑤（文学史） 11 英語まとめ問題①（基本単語） 12 英語まとめ問題②（語彙） 13 英語まとめ問題③（基本熟語） 14 英語まとめ問題④（基本文法） 15 英語まとめ問題⑤（ことわざ・会話表現） 16 社会まとめ問題①（地理） 17 社会まとめ問題②（政治） 18 社会まとめ問題③（経済） 19 社会まとめ問題④（日本史） 20 社会まとめ問題⑤（世界史）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	時事対策
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	2年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている 自ら時事に関する情報収集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会における主要な時事の考え方① 2 社会における主要な時事の考え方② 3 社会における主要な時事の考え方③ 4 社会における主要な時事の考え方④ 5 社会における主要な時事の考え方⑤ 6 社会における主要な時事の考え方⑥ 7 旬なテーマに関するニュースの課題シートの作成① 8 旬なテーマに関するニュースの課題シートの作成② 9 旬なテーマに関するニュースの課題シートの作成③ 10 旬なテーマに関するニュースの課題シートの作成④ 11 旬なテーマに関するニュースの課題シートの作成⑤ 12 旬なテーマに関するニュースの課題シートの作成⑥ 13 旬なテーマに関する考え、意見の発表① 14 旬なテーマに関する考え、意見の発表② 15 旬なテーマに関する考え、意見の発表③ 16 旬なテーマに関する考え、意見の発表④ 17 旬なテーマに対してのディスカッション① 18 旬なテーマに対してのディスカッション② 19 旬なテーマに対してのディスカッション③ 20 旬なテーマに対してのディスカッション④
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	電卓技能
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	2年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	電卓の操作方法を学び、計算演習を行う
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	数値演算を通じた、計数能力の向上
教科書	問題集
特記	
授業計画	1 加減算演習 1 2 加減算演習 2 3 加減算演習 3 4 乗除算演習 1 5 乗除算演習 2 6 乗除算演習 3 7 伝票算演習 1 8 伝票算演習 2 9 伝票算演習 3 10 検定問題演習 1 11 検定問題演習 2 12 検定問題演習 3 13 検定問題演習 4 14 検定問題演習 5 15 検定問題演習 6 16 検定問題演習 7 17 検定問題演習 8 18 検定問題演習 9 19 検定問題演習 10 20 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	マナー接遇基礎
実務家教員	—
学部・学科	経理本科2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	接客・販売・営業に関する実践的な学習をする
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	接客・販売・営業に関する実践的な演習を通じて、習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 接客販売のプロとして 2 演習（ロールプレイング） 3 店内接客の基本 4 演習（ロールプレイング） 5 効果測定 6 営業職のマナーとは 7 訪問のマナー 8 商談の進め方 9 効果測定 10 説明内容に関する知識① 11 説明内容に関する知識② 12 商品説明の準備① 13 商品説明の準備② 14 好感を持たれる商品説明 15 効果測定 16 クレームとは 17 クレーム対応方法 18 電話でのクレーム対応 19 店内でのクレーム対応 20 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	2年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	社会で求められる一般的なビジネスマナーと電話応対を学ぶ
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルを超えたスキルを身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ビジネスマナーの基礎知識① 2 ビジネスマナーの基礎知識② 3 ビジネスマナーの基礎知識③ 4 身だしなみと立ち居振る舞い① 5 身だしなみと立ち居振る舞い② 6 敬語とビジネス用語① 7 敬語とビジネス用語② 8 敬語とビジネス用語③ 9 応接・接遇のマナー① 10 応接・接遇のマナー② 11 応接・接遇のマナー③ 12 応接・接遇のマナー④ 13 電話応対基礎編① 14 電話応対基礎編② 15 電話応対基礎編③ 16 電話応対応用編④ 17 電話応対応用編⑤ 18 電話応対応用編⑥ 19 模擬効果測定準備 20 模擬効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	マナー接遇応用
実務家教員	—
学部・学科	経理本科2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	80時間
授業コマ数	40コマ
授業概要	臨機応変な電話応対や接客スキル、PC操作を習得する
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得
達成目標	効果測定における得点、80点以上を目標とする
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 仮想オフィス実習—接遇編1 2 仮想オフィス実習—接遇編2 3 仮想オフィス実習—接遇編3 4 仮想オフィス実習—接遇編4 5 仮想オフィス実習—接遇編5 6 仮想オフィス実習—電話応対編1 7 仮想オフィス実習—電話応対編2 8 仮想オフィス実習—電話応対編3 9 仮想オフィス実習—電話応対編4 10 仮想オフィス実習—電話応対編5 11 仮想オフィス実習—PC操作編1 12 仮想オフィス実習—PC操作編2 13 仮想オフィス実習—PC操作編3 14 仮想オフィス実習—PC操作編4 15 仮想オフィス実習—PC操作編5 16 仮想オフィス実習—業務指示編1 17 仮想オフィス実習—業務指示編2 18 仮想オフィス実習—業務指示編3 19 仮想オフィス実習—業務報告編1 20 仮想オフィス実習—業務報告編2 21 仮想オフィス実習—業務報告編3 22 仮想オフィス実習—接遇（応用）編1 23 仮想オフィス実習—接遇（応用）編2 24 仮想オフィス実習—接遇（応用）編3 25 仮想オフィス実習—接遇（応用）編4 26 仮想オフィス実習—電話応対（応用）編1 27 仮想オフィス実習—電話応対（応用）編2 28 仮想オフィス実習—電話応対（応用）編3 29 仮想オフィス実習—電話応対（応用）編4 30 仮想オフィス実習—事務処理編1 31 仮想オフィス実習—事務処理編2 32 仮想オフィス実習—事務処理編3 33 仮想オフィス実習—事務処理編4 34 仮想オフィス実習—事務処理編5 35 仮想オフィス実習—総合1 36 仮想オフィス実習—総合2 37 仮想オフィス実習—総合3 38 仮想オフィス実習—総合4 39 仮想オフィス実習—総合5 40 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業研究
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	2年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	スポーツトレーナーやスポーツクラブインストラクターなどのスポーツ系の接客職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	スポーツトレーナーやスポーツクラブインストラクターなどのスポーツ系の接客職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 仕事選びの基準 2 求人票からの情報収集 3 会社四季報、新聞からの情報収集① 4 会社四季報、新聞からの情報収集② 5 スポーツ系接客職種研究① 6 スポーツ系接客職種研究② 7 スポーツ系接客職種研究③ 8 スポーツ系接客職への志望理由① 9 スポーツ系接客職への志望理由② 10 スポーツ系接客職への志望理由③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	就職活動対策
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	2年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	面接の入退室および自己PRができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 面接の基本 2 入退室の仕方 3 スーツの着こなし、身嗜み確認 4 自己PR作成① 5 自己PR作成② 6 面接質問項目① 7 面接質問項目② 8 会計事務所・企業研究 9 模擬面接練習① 10 模擬面接練習②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ心理学
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	2年次
開講学期	1学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	平均寿命の伸びによって、人生は長くなった。長期化した中高年期をどう生きるかは社会全体のテーマである。本講義では、健康寿命を延ばすことを目的とした運動をキーワードに、より活動的な生き方を目指すための行動変容、そしてその動機づけについて学ぶことを目的とする。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	健康行動に影響を与えるさまざまな要因や、身体活動・運動実践が心身の健康に与える影響、個別指導における動機づけとカウンセリングの方法を理解する。
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 運動実践にかかわる社会・心理・環境的要因 3 運動実践によって得られる心理社会的効果の内容とその効果を高める要因 4 運動を採択、継続、および停止を予防するために適用されている行動への理論・モデルおよび技法 5 募集にさいして要因を明確にし、多くの参加者を得るための留意点 6 指導と受講のミスマッチと解決方法 7 個別指導における動機づけとカウンセリングの方法① 8 個別指導における動機づけとカウンセリングの方法② 9 課題演習① 10 課題演習② 11 課題演習③ 12 課題演習④ 13 課題演習⑤ 14 課題演習⑥ 15 課題演習⑦ 16 課題演習⑧ 17 課題演習⑨ 18 課題演習⑩ 19 課題演習⑪ 20 定例試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ指導論
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	2年次
開講学期	1学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	運動の基礎的な知識を学び対象に合わせた、体に考慮した指導がどのように実践されているのかを理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	運動指導における基礎理論・知識の習得
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 バイオメカニクス I（スポーツ動作：歩動作、走動作、跳動作） 2 バイオメカニクス II（スポーツ動作：投動作、打動作、蹴動作） 3 バイオメカニクス III（スポーツ動作：滑走動作、泳動作など） 4 バイオメカニクス IV（トレーニング動作） 5 スポーツ栄養学 スポーツ選手の競技力向上と栄養 I（種目特性の分類と食事） 6 スポーツ栄養学 スポーツ選手の競技力向上と栄養 II（トレーニングスケジュールと食事） 7 スポーツ栄養学 スポーツ選手の競技力向上と栄養 III（栄養・食事計画の立案と食事管理） 8 スポーツ心理学 運動と心理のスポーツ選手への活用 I（メンタルトレーニング） 9 スポーツ心理学 運動と心理のスポーツ選手への活用 II（練習前の心理的準備、目標設定） 10 スポーツ心理学 運動と心理のスポーツ選手への活用 III（試合に向けた心理的準備、イメトレ） 11 スポーツ心理学 運動と心理の一般人の健康増進への活用 I（各種スポーツとメンタルヘルス） 12 スポーツ心理学 運動と心理の一般人の健康増進への活用 II（メンタルヘルスとスポーツ傷害） 13 スポーツ心理学 運動と心理の一般人の健康増進への活用 III（カウンセリング） 14 スポーツ医学 スポーツ傷害 15 スポーツ医学 生活習慣病とその予防（健康づくりのための身体活動基準） 16 スポーツ医学 肥満に対する理解と運動指導 17 スポーツ医学 糖尿病に対する理解と運動指導 18 スポーツ医学 脂質異常症・高血圧症に対する理解と運動指導 19 発育発達論 運動指導の科学 20 スポーツ指導論応用まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	企業体験実習			
実務家教員	○			
学部・学科	スポーツ学科			
履修年次	2年次			
開講学期	1学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	160間			
授業コマ数	80コマ			
授業概要	スポーツ関連施設での実習を通し、各種施設における業務理解や、スポーツ業界全体の情勢の理解に繋げていく			
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ			
達成目標	実践的な業務理解や、スポーツ業界全体の情勢の理解			
教科書	特に使用はしない			
特記				
授業計画	1	アイソメトリックトレーニング実践①	41	レジスタンスエクササイズ応用実践①
	2	アイソメトリックトレーニング実践②	42	レジスタンスエクササイズ応用実践②
	3	アイソメトリックトレーニング実践③	43	レジスタンスエクササイズ応用実践③
	4	アイソメトリックトレーニング実践④	44	レジスタンスエクササイズ応用実践④
	5	アイソメトリックトレーニング実践⑤	45	レジスタンスエクササイズ応用実践⑤
	6	アイソメトリックトレーニング実践⑥	46	レジスタンスエクササイズ応用実践⑥
	7	アイソメトリックトレーニング実践⑦	47	レジスタンスエクササイズ応用実践⑦
	8	アイソメトリックトレーニング実践⑧	48	レジスタンスエクササイズ応用実践⑧
	9	レジスタンスエクササイズ実践①	49	エアロビックダンス応用実践①
	10	レジスタンスエクササイズ実践②	50	エアロビックダンス応用実践②
	11	レジスタンスエクササイズ実践③	51	エアロビックダンス応用実践③
	12	レジスタンスエクササイズ実践④	52	エアロビックダンス応用実践④
	13	レジスタンスエクササイズ実践⑤	53	エアロビックダンス応用実践⑤
	14	レジスタンスエクササイズ実践⑥	54	エアロビックダンス応用実践⑥
	15	レジスタンスエクササイズ実践⑦	55	エアロビックダンス応用実践⑦
	16	レジスタンスエクササイズ実践⑧	56	エアロビックダンス応用実践⑧
	17	スタジオエクササイズ実践①	57	パワー向上トレーニング応用実践①
	18	スタジオエクササイズ実践②	58	パワー向上トレーニング応用実践②
	19	スタジオエクササイズ実践③	59	パワー向上トレーニング応用実践③
	20	スタジオエクササイズ実践④	60	パワー向上トレーニング応用実践④
	21	スタジオエクササイズ実践⑤	61	パワー向上トレーニング応用実践⑤
	22	スタジオエクササイズ実践⑥	62	パワー向上トレーニング応用実践⑥
	23	スタジオエクササイズ実践⑦	63	パワー向上トレーニング応用実践⑦
	24	スタジオエクササイズ実践⑧	64	パワー向上トレーニング応用実践⑧
	25	エクササイズプログラム作成①	65	スタジオエクササイズ応用実践①
	26	エクササイズプログラム作成②	66	スタジオエクササイズ応用実践②
	27	エクササイズプログラム作成③	67	スタジオエクササイズ応用実践③
	28	エクササイズプログラム作成④	68	スタジオエクササイズ応用実践④
	29	エクササイズプログラム発表①	69	スタジオエクササイズ応用実践⑤
	30	エクササイズプログラム発表②	70	スタジオエクササイズ応用実践⑥
	31	エクササイズプログラム発表③	71	スタジオエクササイズ応用実践⑦
	32	エクササイズプログラム発表④	72	スタジオエクササイズ応用実践⑧
	33	アイソメトリックトレーニング応用実践①	73	フリーウエイトトレーニング応用実践①
	34	アイソメトリックトレーニング応用実践②	74	フリーウエイトトレーニング応用実践②
	35	アイソメトリックトレーニング応用実践③	75	フリーウエイトトレーニング応用実践③
	36	アイソメトリックトレーニング応用実践④	76	フリーウエイトトレーニング応用実践④
	37	アイソメトリックトレーニング応用実践⑤	77	フリーウエイトトレーニング応用実践⑤
	38	アイソメトリックトレーニング応用実践⑥	78	フリーウエイトトレーニング応用実践⑥
	39	アイソメトリックトレーニング応用実践⑦	79	フリーウエイトトレーニング応用実践⑦
	40	アイソメトリックトレーニング応用実践⑧	80	フリーウエイトトレーニング応用実践⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	オフィス基礎	
実務家教員	-	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	2年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	MOSWord試験に合格するための実践知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的なPC実習	
達成目標	MOSWord試験に合格するための実践知識を習得する	
教科書	日経BP社 攻略問題集	
特記		
授業計画	1	文書の書式を設定する
	2	文書のオプションと表示をカスタマイズする
	3	文字列や段落を挿入する
	4	文字列や段落の書式を設定する
	5	表を作成する
	6	リストを作成する
	7	参照のための情報や記号を作成する、管理する
	8	標準の参考資料を作成する、管理する
	9	グラフィック要素を挿入する
	10	SmartArtを挿入する、書式を設定する
	11	模擬試験① 実習・解説
	12	模擬試験② 実習・解説
	13	模擬試験③ 実習・解説
	14	模擬試験④ 実習・解説
	15	模擬試験⑤ 実習・解説
	16	模擬試験⑥ 実習・解説
	17	模擬試験⑦ 実習・解説
	18	模擬試験⑧ 実習・解説
	19	模擬試験⑨ 実習・解説
	20	模擬試験⑩ 実習・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	オフィス活用
実務家教員	-
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	2年次
開講学期	1学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	80時間
授業コマ数	40コマ
授業概要	MOSExcel試験に合格するための実践知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的なPC実習
達成目標	MOSExcel試験に合格するための実践知識を習得する
教科書	日経BP社 攻略問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ワークシートやブックの書式を設定する① 2 ワークシートやブックの書式を設定する② 3 ワークシートやブックのオプションと表示のカスタマイズする① 4 ワークシートやブックのオプションと表示のカスタマイズする② 5 セルやセル範囲にデータを挿入する① 6 セルやセル範囲にデータを挿入する② 7 セルやセル範囲の書式を設定する① 8 セルやセル範囲の書式を設定する② 9 テーブルを作成する、管理する① 10 テーブルを作成する、管理する② 11 テーブルのスタイルと設定オプションを管理する① 12 テーブルのスタイルと設定オプションを管理する② 13 関数を使用してデータを集計する① 14 関数を使用してデータを集計する② 15 関数を使用して文字列を整形する、変更する① 16 関数を使用して文字列を整形する、変更する② 17 グラフを作成する① 18 グラフを作成する② 19 オブジェクトを挿入する、書式を設定する① 20 オブジェクトを挿入する、書式を設定する② 21 模擬試験① 実習・解説 22 模擬試験② 実習・解説 23 模擬試験③ 実習・解説 24 模擬試験④ 実習・解説 25 模擬試験⑤ 実習・解説 26 模擬試験⑥ 実習・解説 27 模擬試験⑦ 実習・解説 28 模擬試験⑧ 実習・解説 29 模擬試験⑨ 実習・解説 30 模擬試験⑩ 実習・解説 31 模擬試験⑪ 実習・解説 32 模擬試験⑫ 実習・解説 33 模擬試験⑬ 実習・解説 34 模擬試験⑭ 実習・解説 35 模擬試験⑮ 実習・解説 36 模擬試験⑯ 実習・解説 37 模擬試験⑰ 実習・解説 38 模擬試験⑱ 実習・解説 39 模擬試験⑲ 実習・解説 40 模擬試験⑳ 実習・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習	
実務家教員	-	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	2年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	80時間	
授業コマ数	40コマ	
授業概要	社会で求められる一般的及び応用的なレベルのWORDとEXCEL及びPowerPointの操作方法を学ぶ	
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する	
達成目標	社会人として求められる一般的なレベル及び応用PCスキルを身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	WORDの基本操作①
	2	WORDの基本操作②
	3	WORDの基本操作③
	4	WORDの基本操作④
	5	WORDの基本操作⑤
	6	WORDの応用操作⑥
	7	WORDの応用操作⑦
	8	WORDの応用操作⑧
	9	WORDの応用操作⑨
	10	WORD効果測定
	11	EXCEL基本操作①
	12	EXCEL基本操作②
	13	EXCEL基本操作③
	14	EXCEL基本操作④
	15	EXCEL基本操作⑤
	16	EXCEL応用操作⑥
	17	EXCEL応用操作⑦
	18	EXCEL応用操作⑧
	19	EXCEL応用操作⑨
	20	EXCEL効果測定
	21	パワーポイントの基本操作①
	22	パワーポイントの基本操作②
	23	パワーポイントの基本操作③
	24	パワーポイントの基本操作④
	25	パワーポイントの基本操作⑤
	26	パワーポイントの基本操作⑥
	27	パワーポイントの基本操作⑦
	28	パワーポイントの基本操作⑧
	29	パワーポイントの基本操作⑨
	30	効果測定①
	31	パワーポイントの応用操作①
	32	パワーポイントの応用操作②
	33	パワーポイントの応用操作③
	34	パワーポイントの応用操作④
	35	パワーポイントの応用操作⑤
	36	パワーポイントの応用操作⑥
	37	パワーポイントの応用操作⑦
	38	パワーポイントの応用操作⑧
	39	パワーポイントの応用操作⑨
	40	効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	アプリケーションソフト実習
実務家教員	—
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	2年次
開講学期	1学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	システム設計のプロセスを学習し、演習によって設計手法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	システム開発工程全体など総合的なシステム作成の専門知識の習得をする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 実習の目的と学習手順 2 基本設計：現状分析と現状分析のドキュメント化 3 基本設計：システム構想・開発スケジュール 4 基本設計：システム構成・開発費用 5 基本設計：システムの信頼性・今後の課題 6 外部設計：システム構造図・システムフロー 7 外部設計：ER図・データベース関連図 8 外部設計：テーブル管理表・テーブル項目管理図 9 内部設計：プロセス概要・画面遷移図 10 内部設計：画面レイアウト 11 テスト：モジュールテスト・結合テスト 12 テスト：総合テスト・運用テスト 13 インターネットの概要 14 HTMLの記述方法 15 PHPの記述方法 16 フォーム 17 リンク 18 クッキー 19 セッション 20 データベース操作
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	マーケティング概論
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	2年次
開講学期	2学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	スポーツ業界で実務経験のある先生による講義
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 マーケティングと顧客満足 2 マーケティングと会社の目的 3 財務知識という武器を手に入れよう 4 決算書 5 損益計算書 6 損益計算書で経営成績 7 利益率を使って分析しよう 8 販売費及び一般管理費を見てみよう 9 営業外収益&営業外費用を見てみよう 10 特別利益&特別損失を見てみよう 11 社員1人当たりの利益を見てみよう 12 事例研究① 13 事例研究② 14 事例研究③ 15 貸借対照表 16 どちらが良い会社 17 流動比率は、倒産比率 18 固定比率が高いとは固定資産が多いこと 19 同業企業における比較 20 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	マーケティング研究
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	2年次
開講学期	2学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	スポーツ業界で実務経験のある先生による講義
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 マーケティングの必要性 2 マーケティングの4P・4C分析①（店舗設計） 3 マーケティングの4P・4C分析②（製品開発） 4 マーケティングの4P・4C分析③（繁盛店の商品・サービス） 5 マーケティング対象 6 マーケティングに必要な知識①（欲求5段階説） 7 マーケティングに必要な知識②（法則） 8 マーケティングに必要な知識③（顧客の分類方法） 9 製品、商品、サービスの知識①（購買行動による分類） 10 製品、商品、サービスの知識②（価格の決定方法） 11 製品、商品、サービスの知識③（製品戦略） 12 流通チャンネル①（ブランド研究） 13 流通チャンネル②（パッケージ研究） 14 流通チャンネル③（戦略） 15 プロモーション戦略①（事例研究） 16 プロモーション戦略②（事例研究） 17 プロモーション戦略③（事例研究） 18 様々なマーケティング手法①（3C分析・SWOT分析） 19 様々なマーケティング手法②（STP分析・PEST分析） 20 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング実習	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	2年次	
開講学期	2学期・3学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	160時間	
授業コマ数	80コマ	
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記	スポーツ業界で実務経験のある先生による講義	
授業計画	1 ガイダンス・業界分析 2 情報収集・店舗分析① 3 情報収集・店舗分析② 4 情報収集・店舗分析③ 5 情報収集・店舗分析④ 6 店舗見学①（事前準備） 7 店舗見学②（見学実施） 8 店舗見学③（事後処理） 9 問題点・課題抽出① 10 問題点・課題抽出② 11 仮説の作成① 12 仮説の作成② 13 調査・検証① 14 調査・検証② 15 企画立案① 16 企画立案② 17 企画書の作成①（個人研究） 18 企画書の作成②（個人研究） 19 企画書の作成③（個人研究） 20 企画書の作成④（グループワーク） 21 企画書の作成⑤（グループワーク） 22 企画書の作成⑥（グループワーク） 23 企画書の作成⑦（グループワーク） 24 企画書の作成⑧（グループワーク） 25 企画書の作成⑨（グループワーク） 26 企画書の作成⑩（グループワーク） 27 中間発表準備・練習① 28 中間発表準備・練習② 29 中間発表準備・練習③ 30 中間発表準備④ 31 中間発表準備⑤ 32 中間発表① 33 中間発表後検証① 34 中間発表後検証② 35 中間発表後検証③ 36 中間発表準備・練習⑥ 37 中間発表準備・練習⑦ 38 中間発表準備・練習⑧ 39 中間発表準備・練習⑨ 40 中間発表準備・練習⑩	41 中間発表② 42 中間発表後検証④ 43 中間発表後検証⑤ 44 中間発表後検証⑥ 45 校内発表会準備・練習① 46 校内発表会準備・練習② 47 校内発表会準備・練習③ 48 校内発表会準備・練習④ 49 校内発表会準備・練習⑤ 50 校内発表会準備・練習⑥ 51 校内発表会準備・練習⑦ 52 校内発表会準備・練習⑧ 53 校内発表会準備・練習⑨ 54 校内発表会準備・練習⑩ 55 校内大会発表会 56 校内発表会後振り返り① 57 校内発表会後振り返り② 58 校内発表会後振り返り③ 59 学外発表代表者選考会準備・練習① 60 学外発表代表者選考会準備・練習② 61 学外発表代表者選考会準備・練習③ 62 学外発表代表者選考会準備・練習④ 63 学外発表代表者選考会準備・練習⑤ 64 学外発表代表者選考会準備・練習⑥ 65 学外発表代表者選考会準備・練習⑦ 66 学外発表代表者選考会準備・練習⑧ 67 学外発表代表者選考会準備・練習⑨ 68 学外発表代表者選考会準備・練習⑩ 69 学外発表代表者選考会 70 学外発表会準備・練習① 71 学外発表会準備・練習② 72 学外発表会準備・練習③ 73 学外発表会準備・練習④ 74 学外発表会準備・練習⑤ 75 学外発表会準備・練習⑥ 76 学外発表会準備・練習⑦ 77 学外発表会準備・練習⑧ 78 学外発表会準備・練習⑨ 79 学外発表会準備・練習⑩ 80 学外発表会
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経理事務総合	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	2年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	商業実務分野の実務において、経理職および事務職に求められる、基礎知識（各種社会保険料の算定、源泉所得税算定、年末調整方法等）および事務手続きを、企業等との連携により、より実践的に修得することを目的として講義・演習を行なう。演習においては、証憑書類・帳簿・申告書等の作成を中心に行う。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記	個人事務所を開設している税理士による講義	
授業計画	1 税理士による税務に関する基礎知識講義 2 所得税の基礎知識① 3 所得税の基礎知識② 4 所得税の基礎知識③ 5 所得税の基礎知識④ 6 所得税の基礎知識⑤ 7 所得税の基礎知識⑥ 8 所得税の基礎知識⑦ 9 所得税の基礎知識⑧ 10 所得税の基礎知識⑨ 11 所得税の基礎知識⑩ 12 年末調整のしかた① 13 年末調整のしかた② 14 年末調整のしかた③ 15 年末調整のしかた④ 16 年末調整のしかた⑤ 17 年末調整のしかた⑥ 18 年末調整のしかた⑦ 19 年末調整のしかた⑧ 20 年末調整のしかた⑨ 21 年末調整のしかた⑩ 22 年末調整のしかた⑪ 23 年末調整のしかた⑫ 24 法定調書の流れ① 25 法定調書の流れ② 26 法定調書の流れ③ 27 法定調書の流れ④ 28 法定調書の流れ⑤ 29 法定調書の流れ⑥ 30 法定調書の流れ⑦	31 法定調書の流れ⑧ 32 法定調書の流れ⑨ 33 法定調書の流れ⑩ 34 法定調書の流れ⑪ 35 法定調書の流れ⑫ 36 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出① 37 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出② 38 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③ 39 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出④ 40 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑤ 41 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑥ 42 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑦ 43 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑧ 44 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑨ 45 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑩ 46 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑪ 47 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑫ 48 労働保険の概要及び会計処理① 49 労働保険の概要及び会計処理② 50 労働保険の概要及び会計処理③ 51 労働保険の概要及び会計処理④ 52 労働保険の概要及び会計処理⑤ 53 労働保険の概要及び会計処理⑥ 54 労働保険の概要及び会計処理⑦ 55 労働保険の概要及び会計処理⑧ 56 労働保険の概要及び会計処理⑨ 57 労働保険の概要及び会計処理⑩ 58 労働保険の概要及び会計処理⑪ 59 労働保険の概要及び会計処理⑫ 60 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習応用	
実務家教員	-	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	2年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	Word：応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキルを習得する Excel：複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキルを習得する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	Word：アウトライン機能や校閲機能を用い、効率的に正確なビジネス文章を作成することができる Excel：ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を使用して自動処理化することができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 シンプルなレポートや報告書の作成 2 練習問題演習 3 表、画像、図形を使った文書の作成① 4 練習問題演習 5 表、画像、図形を使った文書の作成② 6 練習問題演習 7 表、画像、図形を使った文書の作成③ 8 練習問題演習 9 表、画像、図形を使った文書の作成④ 10 練習問題演習 11 表作成の基本操作 12 練習問題演習 13 数式・関数を活用した集計表の作成 14 練習問題演習 15 見やすく使いやすい表にする編集操作 16 練習問題演習 17 グラフの基本 18 練習問題演習 19 目的に応じたグラフの作成と編集 20 練習問題演習 	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経理実務実習
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	2年次
開講学期	2学期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	実務で必要とされる事務処理を身に付けることを目的とする。消費税処理、伝票処理、給与処理などを中心に学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	個人事務所を開設している税理士による講義
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 経理・総務の年間カリキュラム 2 小切手・手形の実務上のポイント 3 入出金伝票と現金出納帳 4 当座預金出納帳と手形記入帳 5 交際費、福利厚生費及び会議費用の区分① 6 交際費、福利厚生費及び会議費用の区分② 7 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理① 8 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理② 9 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務 10 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎） 11 個人住民税の徴収及び納付① 12 個人住民税の徴収及び納付② 13 印紙税の基礎知識 14 受取利息の会計処理 15 消費税法の概要 16 消費税の会計処理 17 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）① 18 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）② 19 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）③ 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計ソフト実習
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	2年次
開講学期	3学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	財務会計ソフトにおける基本的な操作スキルを習得する
授業の進め方	パソコンによる実践的な問題演習
達成目標	効果測定における得点、80点以上を目標とする
教科書	配布プリント
特記	個人事務所を開設している税理士による講義
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 日常取引の操作 2 振替伝票の入力操作 3 入出金伝票の入力操作 4 仕訳帳の入力操作 5 売掛帳・買掛帳の入力操作および付箋機能 6 現金出納帳・預金出納帳の入力操作 7 勘定科目の追加登録 8 決算手続の操作 9 決算書の作成 10 翌期繰越処理 11 問題演習1 12 問題演習2 13 問題演習3 14 問題演習4 15 問題演習5 16 問題演習6 17 問題演習7 18 問題演習8 19 問題演習9 20 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	接遇マナー実践
実務家教員	—
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	2年次
開講学期	3学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	80時間
授業コマ数	40コマ
授業概要	企業内で必要とされる基本業務を身に付けることを目的とする。電話対応、接客、接遇などの実践的なトレーニングを行う。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 接遇マナーとは 2 尊敬語と謙譲語① 3 尊敬語と謙譲語② 4 接遇の心構え① 5 接遇の心構え② 6 接遇の心構え③ 7 接遇の心構え④ 8 接遇の心構え⑤ 9 お茶の入れ方、出し方① 10 お茶の入れ方、出し方② 11 お茶の入れ方、出し方③ 12 お茶の入れ方、出し方④ 13 お茶の入れ方、出し方⑤ 14 お見送り① 15 お見送り② 16 後片付け 17 接遇の流れ① 18 接遇の流れ② 19 接遇の流れ③ 20 接遇の流れ④ 21 演習① 22 演習② 23 演習③ 24 演習④ 25 演習⑤ 26 演習⑥ 27 演習⑦ 28 演習⑧ 29 演習⑨ 30 演習⑩ 31 演習⑪ 32 演習⑫ 33 演習⑬ 34 演習⑭ 35 演習⑮ 36 演習⑯ 37 演習⑰ 38 演習⑱ 39 効果測定① 40 効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅱ	
実務家教員	-	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	2年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	80時間	
授業コマ数	40コマ	
授業概要	Word、Exce、PowerPoint1を操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	ワークシートやブックの作成と管理①
	2	ワークシートやブックの作成と管理②
	3	セルやセル範囲のデータの管理①
	4	セルやセル範囲のデータの管理②
	5	テーブルの作成①
	6	テーブルの作成②
	7	テーブルの作成③
	8	数式や関数を使用した演算の実行①
	9	数式や関数を使用した演算の実行②
	10	数式や関数を使用した演算の実行③
	11	数式や関数を使用した演算の実行④
	12	グラフのオブジェクトの作成①
	13	グラフのオブジェクトの作成②
	14	文書の作成と管理①
	15	文書の作成と管理②
	16	文字、段落、セクションの書式設定①
	17	文字、段落、セクションの書式設定②
	18	表やリストの作成①
	19	表やリストの作成②
	20	表やリストの作成③
	21	参考資料の作成と管理①
	22	参考資料の作成と管理②
	23	グラフィック要素の挿入と書式設定①
	24	グラフィック要素の挿入と書式設定②
	25	プレゼンテーションの作成と管理①
	26	プレゼンテーションの作成と管理②
	27	プレゼンテーションの作成と管理③
	28	プレゼンテーションの作成と管理④
	29	テキスト、図形、画像の挿入と書式設定①
	30	テキスト、図形、画像の挿入と書式設定②
	31	テキスト、図形、画像の挿入と書式設定③
	32	表、グラフ、SmartArt、メディアの挿入①
	33	表、グラフ、SmartArt、メディアの挿入②
	34	表、グラフ、SmartArt、メディアの挿入③
	35	画面切り替えやアニメーションの適用①
	36	画面切り替えやアニメーションの適用②
	37	画面切り替えやアニメーションの適用③
	38	複数のプレゼンテーションの管理①
	39	複数のプレゼンテーションの管理②
	40	複数のプレゼンテーションの管理③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実務会計実習
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	2年次
開講学期	3学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得するための講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	個人事務所を開設している税理士による講義
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 売上事務の流れ 2 納品書の作成と売上計上① 3 納品書の作成と売上計上② 4 納品書の作成と売上計上③ 5 請求書の作成と代金回収管理① 6 請求書の作成と代金回収管理② 7 請求書の作成と代金回収管理③ 8 複数の得意先との取引① 9 複数の得意先との取引② 10 複数の得意先との取引③ 11 仕入事務の流れ 12 仕入管理の記帳① 13 仕入管理の記帳② 14 仕入管理の記帳③ 15 仕入代金の支払いと買掛金管理① 16 仕入代金の支払いと買掛金管理② 17 仕入代金の支払いと買掛金管理③ 18 各種書類の作成演習① 19 各種書類の作成演習② 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	総合演習（接遇論マナー実践）
実務家教員	－
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	2年次
開講学期	3学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	80時間
授業コマ数	40コマ
授業概要	ビジネス電話対応、接遇に関する実践的な学習をする
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	電話対応、接遇に関する実践的な演習をし、習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校と職場の違い① 2 学校と職場の違い② 3 学校と職場の違い③ 4 職場のマナー① 5 職場のマナー② 6 職場のマナー③ 7 職場のマナー④ 8 仕事の進め方① 9 仕事の進め方② 10 仕事の進め方③ 11 「ほう・れん・そう」とは 12 挨拶の種類① 13 挨拶の種類② 14 挨拶の種類③ 15 笑顔・お辞儀① 16 笑顔・お辞儀② 17 笑顔・お辞儀③ 18 正しい敬語の使い方① 19 正しい敬語の使い方② 20 正しい敬語の使い方③ 21 正しい敬語の使い方④ 22 正しい敬語の使い方⑤ 23 正しい敬語の使い方⑥ 24 対応の基本① 25 対応の基本② 26 対応の基本③ 27 対応の基本④ 28 対応の基本⑤ 29 実技演習① 30 実技演習② 31 実技演習③ 32 実技演習④ 33 実技演習⑤ 34 実技演習⑥ 35 実技演習⑦ 36 実技演習⑧ 37 実技演習⑨ 38 実技演習⑩ 39 効果測定① 40 効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	